

平成22年12月08日

高速増殖原型炉もんじゅのナトリウム漏えい検出器の電源断による
運転上の制限の逸脱からの復帰について

発生日時	平成22年12月 8日(水) 17時00分
発生場所	高速増殖炉研究開発センター 高速増殖原型炉もんじゅ 原子炉補助建物
状況	<p>高速増殖原型炉もんじゅは、設備点検中のところ、16時35分に炉外燃料貯蔵槽設備*の差圧式ナトリウム漏えい検出器の電源が断となり、ナトリウム漏えい監視装置が動作不能となったため、17時00分、ナトリウム漏えい監視機能の停止による原子炉施設保安規定第34条に定める運転上の制限の逸脱を宣言しました。</p> <p>その後、19時43分に電源を復旧し、19時49分に停止したサンプリングポンプを起動してナトリウム漏えい監視機能が回復したことから、20時05分に運転上の制限の逸脱からの復帰を宣言しました。</p> <p>なお、サンプリングポンプが停止していた時間帯においてもナトリウム漏えいがないことを確認しております。</p>
環境への影響	本事象による環境への影響はありません。
原因	炉外燃料貯蔵槽設備の差圧式ナトリウム漏えい検出器のサンプリングポンプ交換作業の復旧時に電源回路が短絡したことから、上流側の電源が断となり、交換作業の対象外のポンプの停止により、運転上の制限の逸脱となりました。
備考	<p><参考></p> <p>*：炉外燃料貯蔵槽設備については、現在、Bループによる冷却を行っています。ナトリウム漏えい監視している4台のDPDのサンプリングポンプのうち1台のポンプについての交換作業を行っていました。</p> <p>なお、他の2台の電源は正常であり、運転を継続しています。</p>